南会津町立荒海中学校

学校だより

第　２　号
令和２年５月２６日発行
発行者　校長　室井正之

34日ぶりに、全校生徒が登校

本日、4 月 22 日の臨時休業開始から、実に 34 日ぶりに全校生徒が学校へ戻ってきました。

この日を迎えるために、先週から学年毎の分散登校を行い授業も実施してきました。今日ようやく、全学年が登校し、授業を行い、給食も提供できること、大変うれしく思います。

３年生教室

２年生教室

１年生教室

しかし、まったくの手放しで喜んでいられる状況ではありません。新型コロナウイルス感染症の予防に最大限の配慮をしながら日常の教育活動を進めていかなくてはならないと、学校として強い自覚を持っております。

また、休業中の学習の遅れの解消も図らなくてはなりません。

さらには、この先、数ヶ月先、半年先を見据えた、様々な準備も行っていかなくてはなりません。

課題山積みではありますが、職員一同精一杯、保護者の皆さまの協力を得ながら、教育委員会の指導を受けながら、生徒の安全を第一に、これからの活動を進めてまいります。

学校再開後のこれからの推進方針

１、生徒の「生活リズム」や「体力」の回復に配慮した、段階的な活動再開を行います。（学校滞在時間、部活動等）

２、生徒自身の予防のための衛生意識（感染症対策意識）を育てる指導を日常生活に位置づけていきます。（朝の検温、手洗い・消毒、マスク、トイレの使い方等々）

３、「新しい授業の受け方」を提案し、感染予防と授業の充実の両立を図っていきます。（授業中の身体的距離確保や教室内換気）

４、長期休業明けの生徒の体調不良や心理的ストレスへの対応を意識して行います。（家庭との連携強化、教育相談・アンケートの実施）

※感染症の流行は、今後第２波、第３波が来ると言われます。突発する課題に、危機意識を持ち、柔軟に対応してきたいと思います。